

九州・沖縄地区の「飲食店」倒産動向調査(2024 年度)

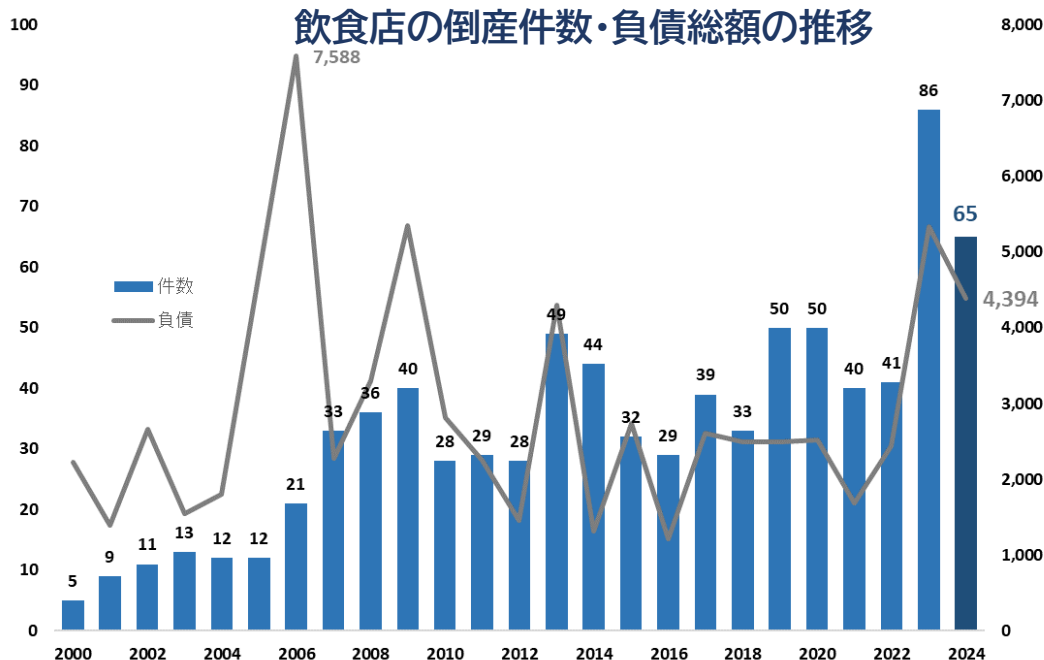
飲食店の倒産が 2023 年度に次ぐ過去 2 番目の高水準

『コロナ倒産』は 31 件、『物価高倒産』も 10 件となった

九州・沖縄地区の飲食店の倒産は 2024 年度に 65 件発生。2000 年度以降で最も多かった 2023 年度 (86 件) に次ぐ 2 番目に高い水準となった。負債総額は 43 億 9400 万円となり、2000 年度以降で 5 番目に高い水準となった。

業種別では、『酒場、ビヤホール』の 15 件(前年度 29 件、前年度比 48.3pt 減)が最多、『中華料理店、その他の東洋料理店』10 件(同 14 件、同 28.6pt 減)が 2 桁で続いた。以下、『バー、キャバレー、ナイトクラブ』8 件(同 5 件、同 60.0pt 増)、『日本料理店』8 件(同 8 件、前年度と同数)、『一般食堂』6 件(同 9 件、同 33.3pt 減)となった。

背景にはコロナ禍の休業や営業時間短縮により、業績が悪化していたことに加え、ゼロゼロ融資等の返済負担、さらには、食材価格、人件費の上昇などもあって、資金繰りが限界に達したことなどが考えられる。今後も食材価格、人件費などは上昇が見込まれることもあり、飲食店の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。



株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当: 秋山 進

TEL: 092-738-7779 FAX: 092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。